

施工前の注意事項

- ・施工前に安全上の注意をよくお読みのうえ、正しく取付けてください。
- ・注意事項は安全に関する重要な内容が記載されていますので、必ず守ってください。
- ・施工後は正常に動作することを確認してください。



……「注意」この指示を無視して誤った取扱をすると、障害または、物的損害が発生する可能性があります。



……このマークは、「接触禁止」の内容です。



……このマークは、してはいけない「禁止」の内容です。



……このマークは、必ず実行していただく「強制」の内容です。



……このマークは、「分解禁止」の内容です。

⚠ 取付に関する注意

	施工・交換・移設は、必ず専門の配管工事業者に依頼してください。誤った施工は、落下・漏水・壁やカウンターの破損の原因となります。		この説明書に記載された項目以外は分解しないでください。破損や怪我、やけど、水漏れが発生するおそれがあります。
--	---	--	--

⚠ 使用に関する注意

	器具に乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。器具が破損し、怪我をしたり、漏水発生のおそれがあります。		お湯をお使いになる際は必ず水側のハンドルから開栓してください。湯側から開栓すると高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
	首振り操作は出来ません。乱暴に扱うと、ゆるみが発生することがありますので、首振り操作はしないでください。		お湯を止める際は必ずハンドルを水側の状態に戻して閉めてください。次に使用する際、器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
	吐水口、引き棒部分に直接水をかけないでください。キャビネット内へ水が浸入し、家財などを濡らすおそれがあります。		高温の湯をお使いの後は器具内に湯が残らないようにしばらく水を流してください。次に使用する際、器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
	他の箇所と同時使用すると圧力の変動が起こり、お湯の温度が急変する事があり、やけどをするおそれがあります。		凍結が予想される場所で使用する際は、給水・給湯管の水抜き操作等を行い水栓内に水が残らないようにしてください。凍結破損で漏水するおそれがあります。
	化粧品(クレンジング剤、整髪料、ヘアカラー剤)などを水栓に付着させないでください。変色や破損のおそれがあります。		ハンドル操作はゆっくり行ってください。急な吐水、止水は配管からの漏水の原因になるおそれがあります。
	高温のお湯を使用の際は本体も高温になっておりますので、直接触れないでください。やけどをするおそれがあります。		ご使用時には必ずハンドルの位置を確認してから吐水してください。高温の湯が出てやけどのおそれがあります。

必要工具および現場手配品



プラスドライバー

モンキーレンチ

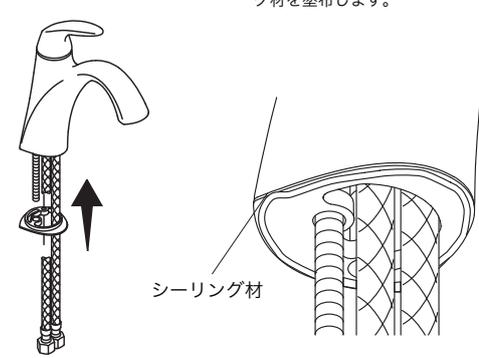
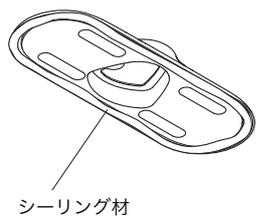
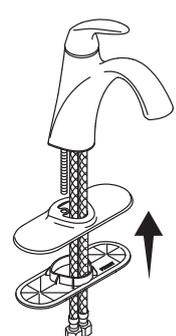
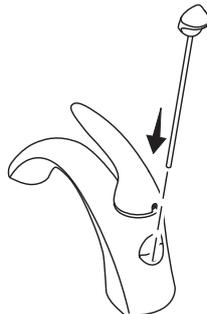
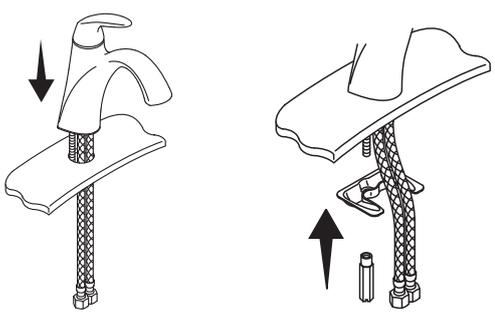
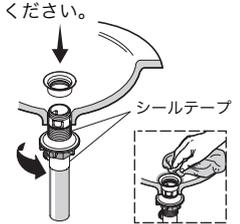
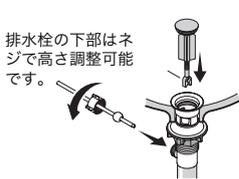
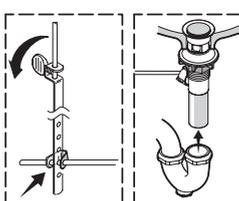
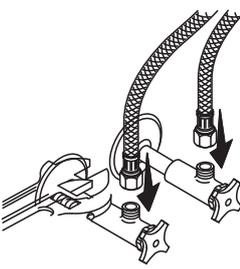
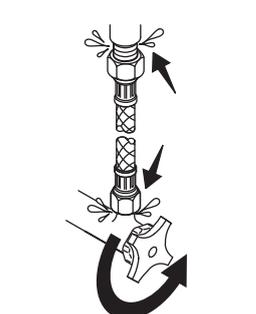


ウエス

その他：
カッターナイフ、メラミンスポンジ、プライヤー

トラップ
Sトラップ
Pトラップ

※国産のφ32のトラップが接続可能です。

<p>重要事項</p> <p>地域の配管および建築の規則をすべて遵守してください。</p> <p>給水を停止します。</p> <p>取付手順は木造フレーム構造への取り付けに関するものです。その他の取り付けの場合は、十分なサイズと強度の確認をしてください。</p>	<p>お知らせ</p> <p>説明で使用している図が、一部本製品の形状と異なります。下記の寸法図を参照して該当寸法をご確認ください。</p>	<p>1 1穴シンクへの取付準備</p> <p>1穴用プレートを取り付けます。プレートの裏面の溝にシーリング材を塗布します。</p>  <p>シーリング材</p>	<p>2 3穴シンクへの取付準備</p> <p>エスカッション（台座）の裏面の溝にシーリング材を塗布します。</p>  <p>シーリング材</p>	
<p>2 (つづき)</p> <p>エスカッションを水栓に取り付けます。</p> 	<p>3 リフトロッドの取付</p> <p>リフトロッドを水栓の背面の穴に挿し入れます。</p> 	<p>4 水栓の固定</p> <p>水栓穴に水栓を挿し入れ、ブラケット、ナットの順にボルトに入れ、ナットを締め付けて、水栓を固定します。</p> 	<p>5 排水金具の準備</p> <p>排水金具のフランジを外します。フランジの裏面にシーリング材を塗布します。</p>  <p>シーリング材</p> <p>この止水が不十分だと栓をして水をためたときに、水が抜けてしまいます。</p>	
<p>6 排水金具の取付</p> <p>フランジをシンクの排水穴に押し入れ、排水金具をネジ込みます。袋ナットを締めてシンクに排水金具を固定します。はみ出したシーリング材は水を含ませたウエス等で拭き取ります。排水金具のネジ部にはシールテープ等を施してください。</p>  <p>シールテープ</p>	<p>7 横ロッドの取付</p> <p>横ロッドを図のように排水金具に取り付けます。排水栓下部の穴に横ロッドを通せば取外しができなくなり、通さずに乗せて使用すれば取外しができます。ただし乗せる場合はU字形の溝に横ロッドがはまった状態で排水栓上部のKOHLERロゴが読めるようにネジを調整します。</p> <p>排水栓の下部はネジで高さ調整可能です。</p> 	<p>8 ロッドの接続</p> <p>リフトロッドと横ロッドを図のように接続します。リンクキットのネジはプライヤーなどを使用して十分に締めてください。リフトロッドを操作して動きを確認し、排水栓の高さ、横ロッド固定ナットの締め具合を調節します。排水トラップを接続します。</p> 	<p>9 給水、給湯の接続</p> <p>接続前に十分に洗管し、配管内のゴミを吐き出します。給水、給湯を接続します。</p> 	<p>10 水漏れ確認</p> <p>止水栓を開き、バルブまで水をはります。接続部に水漏れがないか確認します。</p> 
<p>11 通水の準備</p> <p>スパウト先端の泡沫器を外します。</p> 	<p>12 通水</p> <p>ハンドルを開き通水します。水漏れがないか確認します。泡沫器を戻します。排水栓を閉めて水をため、フランジの止水に漏れがないか確認します。</p> 